

地方創生プロジェクト

脱炭素研究会 《排熱・未利用熱の有効利用を探る》

【趣 旨】

例えば、多くの工場に設置されているコンプレッサーは、通年で相当量の放熱をしている。コンプレッサーに限らず、生産現場では様々な形で熱エネルギーが放出され、場合によってはその処理に相当なコストも投じている。

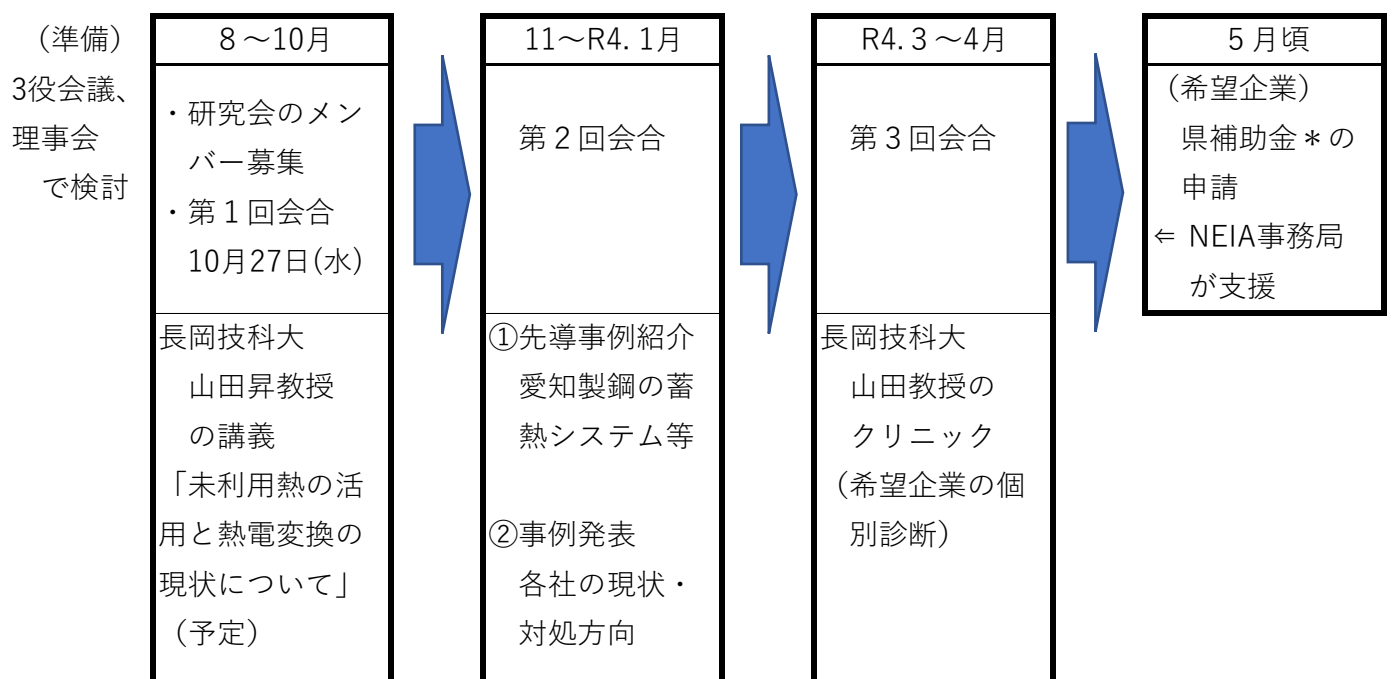
こうした排熱や生産工程で発生する未利用熱を蓄熱技術によって有効利用できないか、あるいは、対策費用を削減できないか、研究者の知見を伺いながら、具体化の可能性を探る。

【検討期間】

この秋に第1回会合を開き、来春までに計3回程度、研究会を開催する。

参加メンバーの工場などで具体的な導入計画が見えてきた場合は、来年度の県補助金申請も検討し、実用可能な事例を生み出すことにより、広く会員への波及を図る。

*スケジュール・・・開催時期と内容（予定）



「県補助金*」は、以下の産業労働部所管の補助金を想定しています。

「新潟県地域循環型再生可能エネルギー等形成促進事業」 補助率 1/2以内、上限額 5百万円